

会長方針

2004-05 年度会長 中野正彬

2004～2005年はロータリーの創立100年に当たります。国際ロータリー会長グレンE. エステス・シニア氏は、世界の120万人のロータリー会員が一世紀にわたる奉仕とロータリアンの心温まる親睦を、過去の成功の自己満足ではなく、現在の困難への新たな危機感をもって、新たに奉仕と貢献をして、ロータリー100周年を祝おうと呼びかけておられます。

第2700地区ガバナー立花寛茂氏は、「国際ロータリー100周年であります。特別な行事は致しません。しかし、ロータリー100周年ということは心に留めておいて下さい。三つの大きな目標（1）ポリオの撲滅（2）ロータリー財団の支援（3）会員増強と退会者防止に重点的に取り組み、ロータリー会員皆様と、**もっと親しく、もっと近くに**をテーマとして一年間を頑張っていきたい。そして、最も退会者が少ない地区になることにより、会員増強をはかっていきたい。」と述べておられます。

そこで私は、次のような事項を目標にしたいと思います。

- 1) 福岡北ロータリークラブへ訪問の当日会員（ビジター会員）を含めて、全会員が仲良く、親しく、お互いのいろいろな情報を交換し合って、例会を有意義に過ごせるようにしたい。
- 2) 国際ロータリー100周年に当ることから、当クラブのいろいろな行事においても、100周年の冠をつけて、100周年の記念の年を思い出すようにして、100周年を祝いたい。
- 3) 可能な限り、財団寄付が1人当たり100ドルになるように努力していきたい。
- 4) 会員増強と会員の退会防止に努めていきたい。
- 5) 20周年継続事業を本年も継続していきます。